

# ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

25

VOL.



## 初夏のヨシ原で騒がしく鳴くオオヨシキリ

撮影:TO

「ギョギョ ギョギョシ」と初夏のヨシ原を歩くとあちこちからオオヨシキリの騒がしい鳴き声が聞こえてきます。近づいていくとやはり野鳥、警戒心が強くヨシ原の中にひそんでしまいます。

子育て真っ最中の彼らが「厄介者が近づいてくるぞ」と仲間知らせる合図のように聞こえます。

春先に熱帯地域より飛来し、ヨシ原で繁殖し夏の終わりには帰っていく夏鳥のオオヨシキリは代表的なヨシ原の生き物です。

ヨシを切り裂いて中にある虫を補食するとされ、名前の由来となっているそうです。

ちなみに、一夫多妻性でメスが巣をつくり抱卵、育雛するらしいですよ。

## びわ湖を知る ■ 問題



7月リニューアルオープンされた琵琶湖博物館さんは、ネットワークに賛同いただいています。

さて、何番目の会員でしょうか？

- ① 1番目
- ② 50番目
- ③ 100番目
- ④ 120番目

# 特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館

学芸員

林 竜馬 様より



## ヨシ原の地下にねむる贈り物

### 【ヨシ原がつくる泥炭】

琵琶湖や内湖の湖岸に広がるヨシ原には、さまざまな重要な働きがあります。しかし、ヨシ原の地下に存在している重要性に気づいている人は少ないのではないのでしょうか？ヨシ原では、ヨシをはじめとした植物遺体が完全に分解されることなく、泥炭として堆積しています。私は、このヨシ原の地下にある泥炭に注目して、研究を行っています。

琵琶湖の内湖には、5m以上の泥炭が堆積していることもあります。たとえば、彦根市の曾根沼には8mをこえる泥炭質堆積物が存在していることがわかっています。琵琶湖周辺で暮らしてきた人々は、この泥炭のことをスクモと呼び、燃料としても活用してきたといわれています。しかしそれだけではなく、琵琶湖の周辺や内湖にねむる泥炭は、大切な記録を私たちに残してくれているのです。

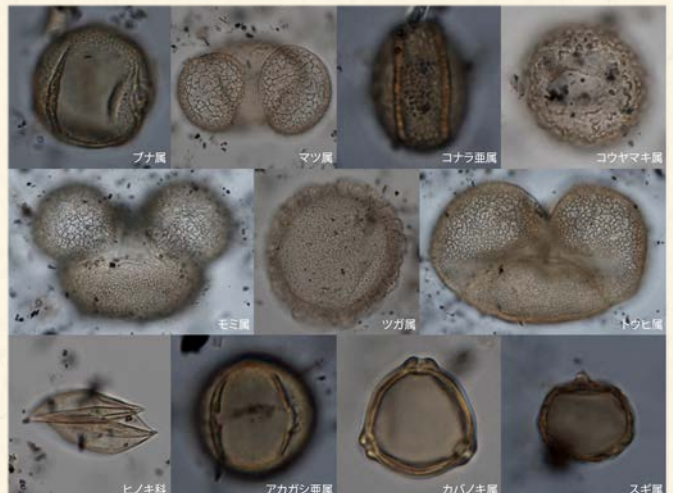
### 【泥炭にねむる植物の化石】

じつは、ヨシ原の地下に堆積している泥炭には、たくさんの植物の化石が残されているのです。分解しないで残ったヨシの茎やさまざまな植物の種子をはじめとした植物遺体はもちろん、肉眼では見ることのできない微化石と呼ばれる化石も重要です。

微化石の中でも、特に私が注目して研究を進めているものは、植物がつくる花粉の化石です。花粉はとても頑丈な殻をもっていて、水のたまる、湿った場所であれば、1万年でも数100万年でも分解されません。そのため、泥炭を採取してきて、顕微鏡で探すと分解されずに残された花粉の化石を見つけることができます。じつは、琵琶湖の湖底にたまっている泥の中にも、たくさんの花粉の化石が残されています。花粉は琵琶湖やヨシ原のまわりの森から飛んできて、泥炭の中にたまります。そのため、花粉の化石を調べることで、



『ヨシ原の地下にはなにがあるのだろうか？』



『琵琶湖でみつかった様々な花粉の化石』

# 特集 2ページ

泥炭がたまった時にまわりにどんな森が広がっていたのかが分かるのです。花粉の化石以外にも、植物の葉の中に蓄積していたケイ酸が化石となるプラントオパールと呼ばれるものや、植物プランクトンであるケイ藻なども化石としてヨシ原の地下に眠っています。また、かわったものとしては、過去の火事によってできた炭も泥炭の中に残されています。これも、過去の火事の歴史を伝えてくれる化石の一つとも言えます。これらの化石は、過去のヨシ原や周辺の環境とその移り変わりを私たちに教えてくれる重要な贈り物であり、ヨシ原にたまる泥炭はそのタイムカプセルでもあるのです。

## 【花粉化石が語る森と人の歴史】

前述した曽根沼で採取した泥炭堆積物に含まれる花粉化石を調べた結果では、氷河期が終わった約15,000年前以降になるとナラ類を中心とした落葉広葉樹の林が優勢であったことがわかってきました。おもしろいことに、この時期には堆積物の中から炭の破片も大量に見つかり、周辺で火事が頻繁におこっていて、森林にも影響を与えていた可能性が示されました。その後、約7,000年前以降になると、落葉樹の林がカシ類を中心とした常緑広葉樹の林に変化していきます。さらに、約2,500年前になると常緑広葉樹の林が減少していき、ナラ類やマツの二次林が増えていきます。この時期には、泥炭の中からイネのプラントオパールも見つかり、水田稲作をとまなう人間活動によって原生的な森林が伐採され、曽根沼周辺の景観も変わりはじめたことが明らかになりました。

## 【ヨシ原にかくされた価値をさぐる】

ヨシ原の地下にかくされた魅力について、少しでも感じていただけたでしょうか？ヨシ原を調べることでわかってくることは、まだまだたくさんあると思います。私は、今年の冬から西の湖をフィールドに、ヨシ原のバイオマスと花粉生産量の調査をはじめました。琵琶湖周辺でのヨシ原のバイオマス調査はこれまでも実施されているのですが、冬場に刈り取りを行い、製品として生態系外に持ち出して利用する炭素量については詳しく調べられていませんでした。また、ヨシ原でどのくらいの量の花粉が生産されているかを調べることで、泥炭中に残された花粉化石から過去の植生を復元するための大事な情報を集めることができます。

これからも、ヨシ原にねむる新たな贈り物を探していきたいと考えています。



『 曽根沼の泥炭からみつかったナラ類の花粉化石 』



『 西の湖でのヨシ原の生産量調査 』

# ネットワーク 広場 1

安土町商工会  
小跡 敦 様より



## 地域とともに歩む商工会

商工会は、「商工業者の経営改善」と「地域社会の発展」に取り組む団体で、全国の町村に設立されています。

安土町は、歴史(安土城跡)と自然(西の湖)という地域資源に恵まれており、商工会ではこれらを活かした観光開発や特産品づくりによる活性化を目指しています。

西の湖は琵琶湖最大の内湖(ないこ)で、ヨシ群落が広がり、多様な魚類や水鳥が生息する地域です。また、環境について小学生から専門家まで学べるフィールドとしても注目されています。



「上空からの西の湖全景」

: 手前の山には、かつて安土城や観音寺城が建っていた。

### ◆ 西の湖には3つの楽しみ方があります。

\*\*\*【西の湖体感3大メニュー】\*\*\*



#### ① 『観光和船』

: 西の湖を和船で探検。  
水辺の風景を楽しながら  
環境学習。

#### ② 『ヨシ特産品』

: ヨシ粉末を用いたうどん・  
お茶など・・・。  
ビタミンCも豊富!



#### ③ 『体験』

: 冬はヨシ刈り  
夏はカヌー



ネットワークの皆さんには毎年ヨシ刈りにお越しいただき、良質なヨシ原が維持されています。年々参加者も増えており、大変心強く思っています。2014年からは、夏にカヌー体験も行っており、「冬のヨシ刈り」と「夏のカヌー」というスタイルが定着してきました。

西の湖にもっと多くの人が集まり、四季折々の良さを満喫して頂きたいと思います。そのため、地元の商工会としては、「学ぶ」、「楽しむ」、「体験する」の各要素を充実したプランを企画提案するとともに、訪れる方々にとって何でも相談できる窓口としての機能を果たしていきたいです。

# ネットワーク 広場 2



## 新・琵琶湖博物館リニューアルオープン (7月14日)

7月12日、第1期リニューアル工事が竣工した「水族展示室」および

「C展示室」を一足早く内覧させていただきました。

### 水族展示室



バイカルアザラシが・・・  
かわいい～ですよ！



淡水魚のトンネル



突然、川魚さんが！  
店先が再現されてました。



カヤネズミ  
体長6cm  
体重7g



ヨシ原を歩いているような感覚に・・・  
カヤネズミの模型も（本物もいるよ～）



ヨシの丸立てが出現！



水辺の鳥や野山の鳥が迎えてくれます。

### C展示室



ミクロの世界にレッツゴー！



ネットワーク活動の展示も！  
・・・ヨシノートも！

びわ湖を知る ■ 解答

③ 100番目

琵琶湖博物館さんは記念すべき100番目の  
ネットワーク会員に賛同いただいています。

新・琵琶湖博物館は見どころ満載でした！

皆さん、滋賀の環境・文化・生き物の再発見に行って見て下さい。！

# ネットワーク アルバム 1

ヨシでびわ湖を守る  
ネットワーク

## 外来魚駆除釣り大会

(6月18日開催)



ネットワーク参加者  
162名



季節は梅雨・・・にもかかわらずピンポイントで晴れ上がり“ラッキー”。  
今年も家族連れ、仲間と一緒に外来魚釣りに挑戦。バスもブルーギルも日差しをさけて草陰にひそんでいたのか、成果は？・・・それでも1等賞は36匹を釣り上げ。。。総数345匹(13kg)の外来魚駆除が出来ました。 気持ちのいい湖畔の一時を思い思いに楽しんだ一日でした。



子供たちも釣りに夢中！



ほとんどがブルーギルでした。



中にはこんな魚も？



多数のご参加有り難うございました。

# ネットワーク アルバム 2

ヨシでびわ湖を守る  
ネットワーク



## カヌーと和船に乗ってヨシ原観察会

(8月6日開催)

夏本番、成長真っ盛りのヨシ原の様子を見てみたい。それも湖面から・・・こんな思いから始めた「カヌーでヨシ原観察会」も今年で3年目となります。

湖面に生い茂るヨシが頭上に迫ってくる感覚はスリル満点です。カヌーを操る楽しさ。心地よい風をいっぱいを受けながら湖面を進む感覚は、地上では味わえないワクワク感でいっぱいです。



二人ペアーで出港風景。



息を合わせてパドルング。



ヨシ原の水路をぐり抜けて・・・ ⇒



湖面でひと休み。



カヌーの後は、和船に乗って遊覧とお食事。  
ヨシ粉の入ったアイスのデザートも・・・(美味)  
・・・船頭さんの話も勉強になりました。



皆さん大満足でピース!

約1時間の体験を終え心地よい疲れが・・・

来夏も開催します。是非体験してみてください。新しい発見が待ってますよ～!

# みんなの リエデン

ネットワーク会員の琵琶湖博物館さんと  
コラボレーションした  
びわこ愛たっぷりの商品が続々登場!!

「滋賀のお魚ヨシノート」に  
持ち運びに便利なA6サイズが登場！

子どもから大人までお魚好きには  
たまらない♪プレゼントにもどうぞ。



× REEDEN



¥200  
(税抜)

セミB5サイズ  
5mm方眼(10mm実線)  
30枚



¥150  
(税抜)

A6サイズ **NEW**  
6.5mm横野  
30枚

REEDEN

ロクブンノイチ野帳

県民野帳!?



屋外での筆記にも最適  
耐久性のある硬い表紙

ご使用例



自然観察

旅の思い出  
スクラップ

ロクブンノイチ...  
琵琶湖は滋賀県の面積の  
6分の1を占めています

.....フィールドワーク

ヤチャラー待望の  
琵琶湖に特化した  
野帳が遂に完成!!

ハードカバー表紙で  
筆記しやすく耐久性  
バツグン☆

滋賀を駆け巡る  
旅のお供には、コレ!

ロクブンノイチ野帳  
タテ165Xヨコ95mm  
3mm方眼野  
40枚

見返しには、琵琶湖・  
淀川水系のヨシを使用

中紙は、線や文字を書  
きやすい3mm方眼野

¥300  
(税抜)